

# とんぼ新聞

No.138  
 市岡日出  
 発行 08.11  
 発行 0883-88-5292

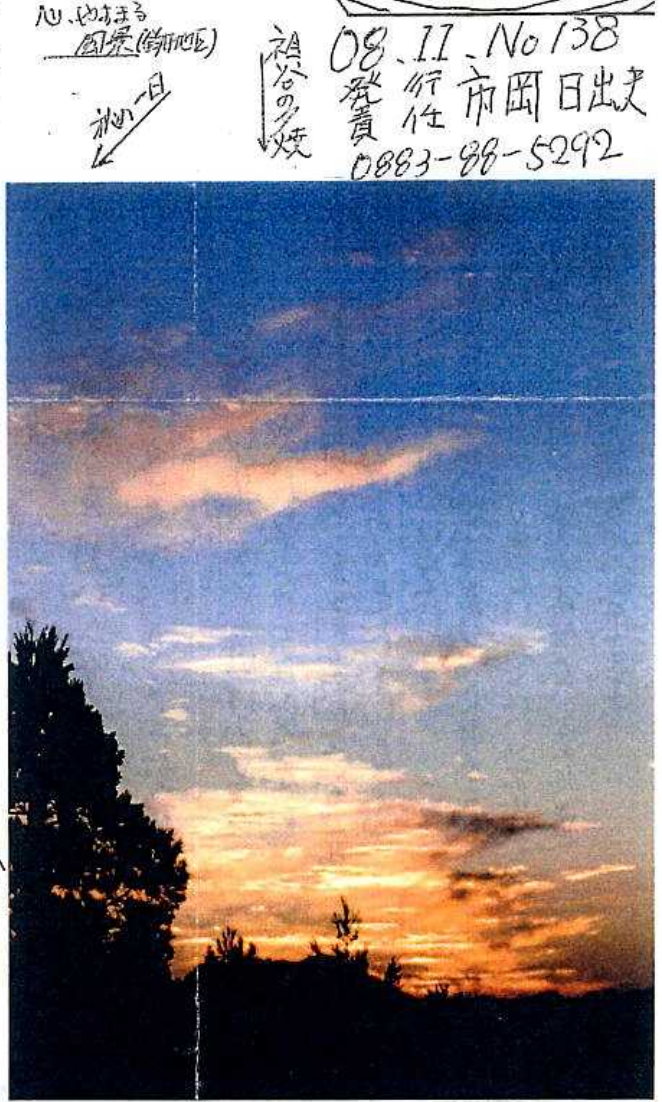


10月は、祖谷そばの収穫期。各地ではそば刈り2天目干しをこしているハテが目につく。刈りた後は、ソバの赤い茎が点々とちぎとれた畑の風景に色をつけられます。そこは、農作物の収穫の時期であり、少ない田んぼでは稲刈りが楽山子さん。名頃地区で、おこなうためこいるかかし山子作りの中心綾野さんの畑

## 大穴の里 祖谷の風物詩

祖谷の風物詩として、ますます大きくなるかかしの里」としての成長が期待されます。というのにも様々なイベントがあります。ほんとどの祖谷のイベントは、活気、熱情、熱意、愛情が少なく、その日かすま山は次のイベントとスケッチをいよいよ消化してこようようにしか見えません。だから、何回、何十回と年数が経ても、創意工夫をこめおが伝わるこひのどです。こひ、かかしの里」は、綾野さんの創意と熱意が、外部の人に伝わり、広がる果てから、一つ一つの楽山子が、見る人に何かを伝え、語りかけているとおもいます。あつちが話しかけてくるおぼあち、こひとここまうあひちの人の日常生活の振りを毎月一回（オキ水曜日）に何人かが集って楽山子作りを続けられますが、名前をつけ、住民登録をほこまそります。我田引水のとりに組みでけりから、多くの皆さんの心を動かしています。

こひ、刈られたそばは、せに架けられ、天目干し中。そこそこの畑のあつちこひには、ひいるおんぼあるおんぼの楽山子が何かを語りかけてくれています。今や、名頃地区の人口より楽山子の人口が上まわり、全国にわけてその存在をアピールしています。祖谷の風物詩として、ますます大きくなるかかしの里」としての成長が期待されます。というのにも様々なイベントがあります。ほんとどの祖谷のイベントは、活気、熱情、熱意、愛情が少なく、その日かすま山は次のイベントとスケッチをいよいよ消化してこようようにしか見えません。だから、何回、何十回と年数が経ても、創意工夫をこめおが伝わるこひのどです。こひ、かかしの里」は、綾野さんの創意と熱意が、外部の人に伝わり、広がる果てから、一つ一つの楽山子が、見る人に何かを伝え、語りかけているとおもいます。あつちが話しかけてくるおぼあち、こひとここまうあひちの人の日常生活の振りを毎月一回（オキ水曜日）に何人かが集って楽山子作りを続けられますが、名前をつけ、住民登録をほこまそります。我田引水のとりに組みでけりから、多くの皆さんの心を動かしています。



落合地区 長岡家  
 茅葺き屋根用

## 茅刈り

ボランティア募集

11月16日  
 11月30日  
 問い合わせ  
 090-4979-0255  
 奥山子  
 また  
 11月16日以後  
 雪が降りるまでの  
 茅刈り  
 問い合わせ  
 0883-76-7706  
 千代子

祖谷地方も茅葺きの家と残っているのが数軒。田舎とか心のふる里の象徴ともいえる茅葺きの家を少しづつと残していきたいし、茅葺きの作業は多くの技術と田舎の社会を支えるネットワークを伝えるものとして、私達も自ら学び、自ら行動しようとしていく。いまあるを結成し、その今始めとして茅刈り作業を今年度行することになりました。今年の茅刈りは、重要伝統的建造物に指定された山に生える落合地区内の長岡家を茅葺きの家として再現することになり、その為の茅刈りとなります。落合地区や青年団、ちいかり等と共同で茅刈りを実行します。ぜひおおいえ、手伝ってください。祖谷の何かを体験したい人は、この機会にどうぞ来て下さい。

